

# 第3学年 図画工作科 学習指導案

## 題材名：「教室が大へんしん」

- 1 日 時 平成28年11月25日（金）
- 2 学 年 第3学年1組 男子5名 女子4名 計9名
- 3 場 所 第3学年1組 教室

### 学校教育目標

### 「自ら伸びる」児童の育成

#### 【みる・かく・つくる】

自然の材料の形や色、大きさや材質のおもしろさを体全体で実感し、落ち葉などの形や色、大きさなどを考えて、並べる、重ねる、組み合わせるなど、各自の考えや感覚を大切にしていってつくっていくことができる。

de

#### 【人づくり】

教室をパーティー会場に変身させることを通して、児童同士がかかわり合い、自分の作品について語ったり、友達の作品に共感したりできるようにする。

## 題材について

本題材は、小学校学習指導要領図画工作の第3学年及び第4学年、A表現（1）「ア 身近な材料や場所などを基に発想してつくること。」〔共通事項〕「ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組み合わせなどの感じをとらえること。」に重点を置いている。

本題材は、形や色、材料について知り、造形的なものの方や考え方を養う活動である。落ち葉や実、枝の美しさやおもしろさに関心をもって集め、自然の材料の形や色、大きさや材質のおもしろさを体全体で実感し、落ち葉などの形や色、大きさなどを考えて、並べる、重ねる、組み合わせるなど、各自の考えや感覚を大切にしていってつくっていく内容である。自然物は、同じ種類の葉や枝でも形や色、大きさが違うという点に、材料としての魅力がある。



## 児童の実態について

本学級の児童は、6月に行った事前のアンケートでは、全員が「図工が好きである」と回答している。また、「造形遊びが好き」と全員が回答しており、興味・関心が高い。しかし、学習の振り返りでは、「楽しかった」や「きれいにできた」などの感想を書くことはできるが、学習内容に踏み込んだ感想を書くことのできる児童がいなかった。そこで、活動の中のつぶやきやかかわり合いの中で生まれた発言を教師が板書に残して、振り返りに活用してきた。作品や板書を手掛かりに活動を修正したり

発展させたりする姿も見られ、振り返り時には、具体的な感想を話せる児童が増えてきた。

児童は3年生になり、「新聞紙バリアで守れ!」の造形遊びを通して、新聞紙を細長く切ったり、長くつないだりして、思いついた活動を楽しむ学習をしてきている。最初は、自分ひとりだけで新聞紙を長く切るという活動だった。そのうち、紙の長さや量が増えていくと、教室の椅子や机、壁や扉などを生かして、貼り付けたり、広げたり、やり直したりする活動が始まり、友達と声を掛け合い、協力しながら生き生きと活動している姿が見られた。

## 指導（「みる」・「かく」・「つくる」）のポイント

指導に当たっては、まず、教室の机を中央に寄せパーティー会場のテーブルに見立てる。周りの床面を広くとっておき、ストックしてきた自然物が取り出しやすいように種類別に段ボールに整理しておく。前時のランド・アートの作品をきっかけにして、自分たちの教室を変身させられるような材料を選んだり、自然物を並べたり広げたりしてみる。活動が進むと、床や壁だけの活動ではなく、机の上につくったり、椅子に固定したりするなど、教室にあるものを利用する活動も考えられる。その際、必要になる道具に、児童自らが気づき、選択できるように、材料の近くに用意する。



安全面では、自然物の切り口には鋭利なものがあるので、扱いに気を付けるよう声をかける。また、3年生が安全に扱えるよう、枝の長さに留意する。また、高所での活動をする際には活動中、必ず補助に入る。

## 題材の目標及び評価規準

### 【題材の目標】

- 心を開き、友達と関わり合いながら楽しく活動することを通して、友達と力を合わせて教室をいつもと違う場所に変身させることができる。

### 【評価規準】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	鑑賞の能力
・身近な場所や自然材料に関心をもって、思いついた活動を楽しんでいる。	・自然材料や身近な場所に関わり、それらを操作したり、構成したりする方法を考えている。	・自然材料や場所を生かした活動のよさや、自他の考えのおもしろさを味わっている。

# 指導と評価の計画

(全3時間)

次	学習内容	評価の観点			評価規準 (評価方法)
		関	発	鑑	
1 (1)	・ランド・アートの作品を見てみよう。			◎	・自然材料や場所を生かした活動のよさや、自他の考えのおもしろさを味わっている。 (発表・ワークシート)
2 (2)	・教室をへんしんさせよう。  ・教室をへんしんさせよう。 3 / 3 (本時)	◎		◎	・身近な場所や自然材料に関心をもって、思い付いた活動を楽しんでいる。  ・自然材料や身近な場所に関わり、それらを操作したり、構成したりする方法を考えている。 (行動観察・発言)

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

心を開き、友達と関わり合いながら楽しく活動することを通して、友達と力を合わせて教室をいつもと違う場所に変身させることができる。

### (2) 準備物

(教師) 草や木、枝などの自然材料、麻ひもや縄、紙の粘着テープ、脚立、踏み台  
グルーガン、土粘土

(児童) 草や木、枝などの自然材料

### (3) 本時の学習展開

学習活動	◇指導上の留意点 (◆Cと判断される児童に対する手だて)	評価規準 (評価方法)
1 活動の見通しをもつ。	◇みんなで集めた自然物を使って、教室を大変身させるという活動を紹介し、児童の関心や学習意欲を高める。	
2 本時の課題を確認する。		

自然物を使って、すてきな○○パーティー会場に教室をへんしんさせよう。

3 自然物を使って、教室を変身させるために思い付いた活動始める。

グラデーションにするときれいだな。葉っぱを色ごとに分けて並べてみよう！

◇選んだ場所や自然物の材料の形や色、大きさや量、材質などを生かしながら感じたものをもとに、並べる、置く、つなぐ、積む、乗せる、重ねる、敷く、広げるなどの活動を行う。



一枚の葉っぱでも違う色が混ざっているんだ。

4 友達と一緒に作りながら、材料や場所の特徴から思い付いたことをする。

ぼくたちは、グルグルパーティーだ。机のまわりにグルグルと落ち葉を敷きつめると道ができ上がったよ。まつぼっくりも並べてみよう！

◇選んだ材料や場所で、どのようなことができるかを考える。



・自然材料や身近な場所に関わり、それらを操作したり、構成したりする方法を考えている。(行動観察・発言)

前時に言葉集めを行い決めた星形・ギザギザ・グルグルパーティー会場に変身させるため、班ごとに協力して活動した。

◇いろいろな飾り方や模様、組み合わせ方をしている児童を称賛する。



どんぐりを並べた星形




いちょうの葉を並べた星形



星形に見える葉を集めて組み合わせた星形

◆パーティー会場にあつたらいいなと思うものを連想させ、一緒に材料を重ねたり、積んだり、並べたりしながらイメージを膨らませる。

<p>5 お互いの活動のよいところを見つけたり，自分の活動のよいところを紹介したりする。</p> <p>何層にも重ねた葉の上はフカフカで気持ちいいよ。光が入ってキラキラして見えるね。教室がいつもの場所から変身したね。</p>	<p>◇自分と友達のよいところや工夫を認め合えるように，鑑賞の時間を設定する。</p>  <p>みんなで考えるといろいろなアイデアが浮かぶね。</p>	
<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>○友達といっしょにかかわり合って教室を変身させることができた。</p>		
	<p>◇友達の関わり合いのよかったところも発表させる。</p>	
<p>7 片付けをする。</p>	<p>◇枝やつる等の自然材や麻ひもなどは，種類別に整理して片付け，以降の学習で使えるように保管しておく。</p>	

【◎成果と●課題】

- ◎材料の量と触れ合う時間を十分に確保することで，児童が材料に親しみ思い切り活動することができた。
- ◎言葉遊びを行い，言葉遊びの中から見つけた言葉を使ってパーティー会場に変身させることで友達と協力し合い，次々に新しい発想をし続けることができた。
- ◎ランドアートの鑑賞を行うことで色や形に視点を置いたダイナミックな発想をすることができた。
- ICTや活動の流れや変容が見取れるワンペーパーを利用するなど評価を行う手立てを工夫する。
- 友達のしていることを認める時間や言葉がけをタイミングよく行う。